



おかむら通信第 76 号

平成 23 年 8 月



みなさま、お元気ですか？ 7月にはとにかくイギリスに行ってきました。しょっぱなに苦難の一発をかまされました。入国に 4 時間費やしたことになります。差別がそこに存在していたかどうか、はのちほど考えてゆきましょう。掲示版に 4 回シリーズで掲載してゆきますので是非ご覧ください。しかし、いいものを得る、感ずるには、体力がいるのですね。

院長より

以下にも書きますが、7月 23 日（土）に東葛地域（柏・我孫子・浦安・船橋・流山・野田・鎌ヶ谷・市川・習志野・八千代）の医師会の会長、副会長、理事、事務局、IT 専門家が総勢 300 人集まる医療協議会で「EMI ネットと地域連携」と題うって講演をさせていただきました。千葉大の藤田教授の「千葉県 IT ネットと地域連携」のお話しお素晴らしいものでした。まだドクターという方々の今いち積極でない存在の中、未来のしっかりとした構想ができつつあるのです。しのこのいわずに県全体が、日本全体が、ついてきてくれば、足元からの医療改革が可能となります。少なくともそのきっかけになると信じています。しかしこれは、日頃たくたになりながら医療活動をしたうえでの少数の関係者の努力に支えられている、といっても言い過ぎではありません。

イギリスへ行って感じたこと。

イギリスは UK (United Kingdom) といって、イングランド・スコットランド・ウェールズ・北アイルランド・アイルランドの全部で 5 つの地域に分かれています。今回はロンドンが存在するイングランドに行ってきたわけです。

i) 医師達の的確に、忙しく立ち回っている姿がありました。また看護師のスピード、真摯さ、反応の良さ、さすがナイチンゲールを生んだ国です。

ii) よく働くのは、医師・看護師ではありません。理学療法士等のたくさんの業種がひしめきあっている中で、自分の職業の他、更に資格を求めて勉強をしている方々が多くいます。それは、生きていくという姿勢が違っているように思えました。より上を目指し、彼らはそれに向かって突き進んで行くように感じました。

iii) 差別がある、というのは各階層が見えています。頑張れば上へあがれます。がんばらなければ下に沈んでそのままです。心のパワーもひとを大事にすることもその程度も千差万別となります。入国の時に 2 つの窓口が設けてあり、欧州及び本国・その他すべての国の方とありました。片方は 4 人の白人担当官が数十人の「欧州及び本国の方」を、片方は一人の黒人の担当官が 7~800 人の「その他すべての国の方」の入国者を審査していました。



iv) その一方、町中では、地下鉄の乗った時、道に迷った時の一般の人の優しさには驚きました。むかし日本人にもそういう時代があったと思います。イギリスには何かがあります。今回は上っ面しか見てこれなかったのですが、その中にも、本物が見え隠れしていたように感じました。行って良かった、、、です。

7月の海外ドクターツアーイギリスについて

ショックを受けました。電子カルテは勿論当たり前。さらにフィルムレスで診察机、あるいは病棟の看護ステーションの横にCR、画像ファイリングを用いていました。診療所はどうしてもアタックできませんでしたが、ロンドンでは、世界でも屈指の病院が目前にいくつも展開してきました。皆さん、ドクターにも言いたい、行ってみななければわからない事がありますね。

後ほど、待合室に写真入りで掲載いたします。

7月の院長の院外活動

1/ 松戸市医師会病診連携推進委員会

13/から 18/まで 海外ドクター研修 (イギリス、ロンドンからノーリッジ、オックスフォード、コッツウォルズへ)

22/ 松戸市医師会乳がん部会

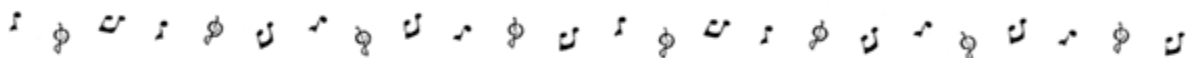
23/ 東葛地区医師会医療協議会 「会場の先生方から質問が相次ぎ講演者の立ちっ放しは1時間を超えました。何せ、こんなに関心があったとは嬉しい限りです。EMIネットの楽しい講演に共感して頂きました。」

25/ IT専門家と懇談 当院にて

28/松戸市電子医療情報ネットワーク事業参加機関連絡協議会 市立病院にて

夏休みのこと

今月17日(水)から20日(土)までです。よろしくお願い致します。



過ごし易い今日この頃ですが、猛暑は戻ってくるようですね。

毎日節電を心がける中、電気は余っているので必要ないとの声もあります。

ただ、この日本列島で原発を稼働する事が危険だと体験した今、原発なしでも暮らせるように、生活を変えていかななくてはと思っています。

8月担当 岡村(恵)でした。

